

「知的わくわく磁性流体モデル」を大学と中学校が協働で実現し、
科学のわく組を動かせる次世代理系人材を育成する



令和6年度第14&15回講座 2025年1月11日(土)

午前：筑波大学 浅野裕樹先生

「研究者って何してるの？」～広戸風を題材にした探究演習～

午後：岡山大学プログラム担当者

「ポスター制作の進め方と実習」



見いだしたことを発表中



研究者の追体験

A：天気図調査、B：地上気象調査、C：文献調査チームに分かれて探究活動です。調べて終わりではなく、調べたことに自分の考えを入れることが大切です。発表している内容がすでに新しい探究課題になっていることも…。

「発表で、新しい価値を世の中に問う」



3月22日(最終回)は、ポスター発表です。4種類のポスターを貼り出し、自分の発表内容に相応しいデザインはどうあるべきかについて、議論しました。型はもちろんありませんが、「相手に伝えること」を忘れないように、配置する内容、文字の大きさ、配色等を考えました。実際には、はじめてこのようなポスターを創る受講生もいるので、持参した情報端末を使ってA0サイズを設定し、タイトルや画像を入れてみました。

また、一人一人、どのようなポスター発表をするのかヒアリングも行いました。これまでの講座からヒントを得た受講生、独自のテーマを既に持っていた受講生いろいろですが、それぞれが魅力的なポスター内容を考えています。3月が楽しみです。ポスターの提出期限は、3月11日となっています。どうか試行錯誤を楽しんでください。



広戸風の実態を明らかにしよう！

浅野先生にご準備いただいた資料を用いて、広戸風について探究活動を行いました。例えば、台風がどこを通る時に、広戸風が吹いているのでしょうか。あまり細かく見過ぎないで全体を捉えます。その上で、自分(地元民ならではの)ローカルな視点も加えると…。